

ふれあいトーク記録書 （ 市民団体との意見交換会 「ら」チーム ）

開催日時： 令和6年11月22日（金）午後7時 ～午後9時

場 所： 岩倉市民プラザ

参加人数： 4人(市民) 3人(市議会議員) 計7人

- 次 第：
1. 主催者あいさつ
 2. 開会あいさつ 市議会議長 関戸郁文
 3. 参加者の自己紹介
 4. 意見交換 テーマ:「誰一人取り残さないSDGs」
 5. 閉会あいさつ 市議会副議長 井上真砂美

項目	参加者（市民団体）の意見	議会の応答
孤立、孤独について	・ヤングケアラーに対する対応がされているのかわからないと聞いた。 ・心が独りぼっちである。否定されたり受け入れてもらえない。認識すらされていない。	
	・会社でのパワハラがある。相談できる人がいない。上司やその上の人にも相談に乗ってもらえなかった。	・取り残されているのは自分に責任がある時もあるのではないか。議会研修に参加した時、集合写真に入れなかったのは自分のせい。
	・不登校の児童支援室がそもそも支援になっていないようである。	
	・経済的に取り残されている人に対し行政が相談に乗っても根本的な解決にはならないのではないか。	・多重債務者の相談無料など相談窓口の対応、総合的に面倒みられる組織が必要である。

孤立、孤独について	・高齢者の生きがい生き生きした仕事、仕事に対するやりがいをもつ方法が必要である。	
	・障がい者への市の情報提供、議会だよりなど視覚障がいの方々に対する対応が少ない。	・議会に文字モニター設置など積極的に提案していく。
	・市の情報のデジタル化は必須であるがデジタル化による疎外感を持つ方に対応することも重要である。	・SNSによる情報発信は重要だが慎重に行う必要がある。SNS対応が議員自身遅れている。 ・デートDVなどがおきるのも相談相手がないなど孤立化が進んでいるからではないか。
町内会の SNS について	・中本町に置ける結ネットの活用を学習し市内に広めるのはどうか。	・SNSの学習の場として広くすすめるのはよいと思う。
	・岩倉市全体に無料 Wi - fi を設置し Wi - fi の街岩倉として売り出してはどうか。	・費用面がどのくらいかの研究は必要だがすばらしい提案である。
	・集合住宅に回覧板を回していない（大家さんの都合で）地域がある。結ネットに対応するのはどうか。	・現在の結ネット利用者は 100 人くらいである。広めていくのが重要。